

# 田中研新聞

第96号  
2021年  
7月3日発行

甲南大学知能情報学部田中研究室 ほぼ毎月発行  
http://carnation.is.konan-u.ac.jp  
編集責任 田中雅博

## ようやく緊急事態宣言終了

### 授業は対面に

大阪府、兵庫県、岡山県などの緊急事態宣言は9月20日をもって解除され、大阪府、兵庫県などはまん延防止等重点措置の実施に移行しました(岡山県は全部解除)。

それに伴い、甲南大学では6月21日から、100名以上の受講者がある授業はオンラインのままですが、それ以下の受講者数の授業等では原則として対面とすることをになりました(例外はあるので、自分の受講する授業については、MYK

は6月21日から、100名以上の受講者がある授業はオンラインのままですが、それ以下の受講者数の授業等では原則として対面とすることをになりました(例外はあるので、自分の受講する授業については、MYK

ONANなどを確認してください)。田中の担当する授業についても、大学の方針に従うこととし、パターン認識についても、変更後の最初授業は移行措置の適用を、その次の授業からは対

面に切り替えました。その他、知能情報学実験及び演習、卒業研究および演習、知能情報システム特論(大学院も対面とし、さらに、個別の研究指導(院生等)も対面としました。状況が目まぐるしく変化

する状況の中で、いつまでこの措置が続くかわかりませんが、我々はオンライン、対面、まるで、カメレオンのごとくシームレスに適應することが必要です。

この措置が継続する中で、いつまでこの措置が続くかわかりませんが、我々はオンライン、対面、まるで、カメレオンのごとくシームレスに適應することが必要です。

この措置が継続する中で、いつまでこの措置が続くかわかりませんが、我々はオンライン、対面、まるで、カメレオンのごとくシームレスに適應することが必要です。

この措置が継続する中で、いつまでこの措置が続くかわかりませんが、我々はオンライン、対面、まるで、カメレオンのごとくシームレスに適應することが必要です。

7月2日

## スポーツとロボット技術

### 日本ロボット学会 オンラインセミナーを受講して

日本ロボット学会第135回ロボット工学セミナー「スポーツとロボット技術」を受講しました。今まであまりこの手のセミナーに参加したことはありませんでした。その理由は2つ。1つは、本学の学会出張旅費では、学会主催であっても、聞くだけのセミナーの旅費を使つての参加は認められていないこと、もう1つは、出張する時間がなかなか確保できなかったためです。

1つ目の理由については、共同研究費などの外部資金では認められることから、そこからの出費として聞くことにすることで解消しました。2つ目の理由については、コロナ禍において、セミナーがオンライン開催されたことにより、参加できました。

我々が、セミナーへの参加が大学の旅費・参加費で認められていないことは、大学が、人の話を聞くことの価値を十分に認めていないということだと思いま

す。それは、大学院の学生出張旅費においては、学術講演会であっても自分が発表しないものには旅費が出ないということ、さらに自分が発表することのみを評価し、人の話を聞くことと軽んじるということ、やる気のない教員、やる気のない学生に対しては確かに正しいポリシーでしょう。しかし、自分が発表するものだけに認めるというのは、他人が話す、価値の高い話を聞きそびれることになりま

す。それは、大学院の学生出張旅費においては、学術講演会であっても自分が発表しないものには旅費が出ないということ、さらに自分が発表することのみを評価し、人の話を聞くことと軽んじるということ、やる気のない教員、やる気のない学生に対しては確かに正しいポリシーでしょう。しかし、自分が発表するものだけに認めるというのは、他人が話す、価値の高い話を聞きそびれることになりま

す。それは、大学院の学生出張旅費においては、学術講演会であっても自分が発表しないものには旅費が出ないということ、さらに自分が発表することのみを評価し、人の話を聞くことと軽んじるということ、やる気のない教員、やる気のない学生に対しては確かに正しいポリシーでしょう。しかし、自分が発表するものだけに認めるというのは、他人が話す、価値の高い話を聞きそびれることになりま

す。それは、大学院の学生出張旅費においては、学術講演会であっても自分が発表しないものには旅費が出ないということ、さらに自分が発表することのみを評価し、人の話を聞くことと軽んじるということ、やる気のない教員、やる気のない学生に対しては確かに正しいポリシーでしょう。しかし、自分が発表するものだけに認めるというのは、他人が話す、価値の高い話を聞きそびれることになりま

す。それは、大学院の学生出張旅費においては、学術講演会であっても自分が発表しないものには旅費が出ないということ、さらに自分が発表することのみを評価し、人の話を聞くことと軽んじるということ、やる気のない教員、やる気のない学生に対しては確かに正しいポリシーでしょう。しかし、自分が発表するものだけに認めるというのは、他人が話す、価値の高い話を聞きそびれることになりま

#### 編集後記

今回は、1ページの簡略版となっております。はつきり言って、ネタ不足でした。

紙面のほとんどの部分を占めるセミナーの話は、いかがでしたか。皆さんもいろいろなお話があるでしょう。機会を無駄に聞き流した方もいないですね。このように、整理して記録しておくといいたいです。

田中研新聞は、学生の要望によって始めたもので、基本的には、編集委員は学生をして、それが活の時に言っていることを、田中研新聞に投稿してください。

田中研新聞の編集者になってくれたら、十分PRできると思います。

皆さんの腰が引けていて、あまり研究室の体を成していないと言ったら失礼でしょうか。皆さんがもっと来るようにするのは簡単です。週に3回来なさい、4回来なさい、そうしないといけないかもしれません。来ているうちに次第にそれが当たり前になります。

今、コロナの状況の中で皆さんを大学に出すことを半強制にするのは好ましくないと考えています。

自分の行動は自分で律する、これが田中のポリシーです。

#### 対外予定

7月9日 田中が今年もシルバークレッジ(神戸市)で、高齢者と人工知能というテーマでオンライン講演。

10月30日~31日 確率システムシンポジウム(立命)に、田中他参加予定。

11月6日 研究成果発表会。

11月9日 MOBI Oシリーズ(東大阪)発表会にて、ラジオ体操探点システムおよび脳卒中後機能評価システムの発表予定。